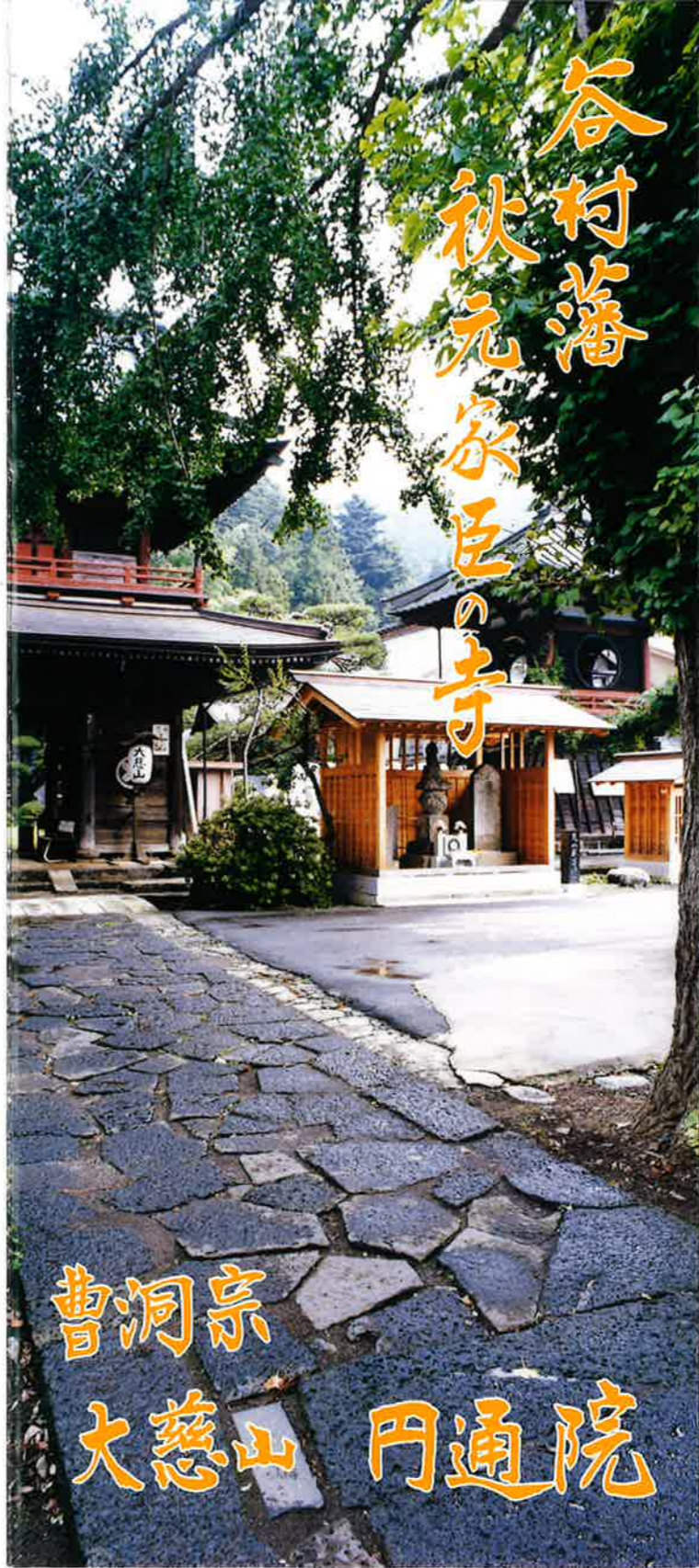


信仰により伽藍が整えられ、梵鐘も寄進され現在に至っている。本堂、鐘楼、薬師堂、山門、六角堂、白山堂、芭蕉堂、五石橋などがあり、秋元時代の多くの寺宝が保存されている。寺として創建当時の観音信仰の冠観音を始め大観音、つる慈母観音、保育観音、三十三観音など、観音霊場として諸佛が祀られている。史蹟として、谷村藩の歴史を語る。

谷村落 秋元家臣の寺



曹洞宗
大慈山 円通院



◇杉戸襖絵 龍



谷村藩主秋元家臣墓所



主な行事

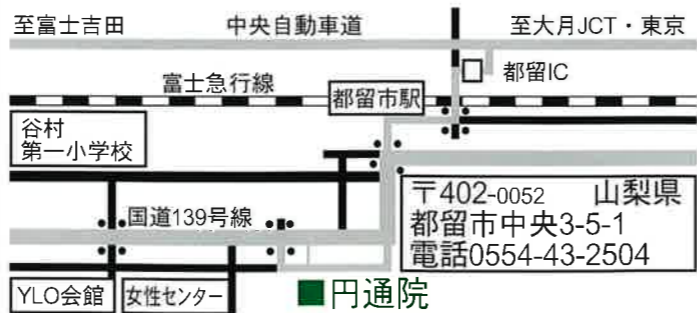
三月下旬	春彼岸
五月二十一日	つる慈母観音 法要
七月十三日～十六日	孟蘭盆会
七月二十日(海の日)	施食会
八月十三日～十六日	孟蘭盆会
九月下旬	秋彼岸
十月十二日 (平成十年より)	薬師如来縁日
十月十二日 (平成十年より)	秋元家臣法要
十月十二日 (平成十年より)	芭蕉忌

円通院縁起

円通院は応仁元年(一四六七)に梅巖全芳居士が開基となり、観音菩薩を勧請して円通庵が開創された。寛永十年(一六三三)秋元氏が谷村藩主となって、寛永十三年から城下町作りを始めたとき、秋元氏の計らいにより、下谷村の北方竹之鼻の地(旧田町)から現在の地に移された。「秋元家臣の寺」として護持され、家老の高山家を始め、多くの家臣たちの篤い



◇杉戸襖絵 虎



円通院の文化財 (◇は秋元時代の寺宝)

◇ご本尊



釈迦三尊
寄進者 慈照院心月光安大師
(高山五兵衛長繁妻)
観音菩薩と不動明王
(円通庵時代のご本尊)

秋元家臣の寺として円通院が再建された際、特に家老の高山家の方々の篤い信仰によって伽藍が整えられ延宝四年(1676)にご本尊として釈迦三尊が寄進された。

◇薬師瑠璃光如来

秋元公が病氣平癒を乞って勧請した薬師如来で、現在も秋佛として二十年毎にご開帳している



【薬師如来真言】
オンコロコロ
センダリマトウギ
ソワカ

◇達磨さんと大権修利菩薩

この達磨さんはご本尊と一緒に寄進された佛像である。

大権修利菩薩は曹洞宗の寺院にある佛像で中国から帰る道元禪師の無事を祈って見送っている姿を表している。

また、伽藍を守る佛さまでもある。



達磨大師 大権修利菩薩

◇日の出絵 左(假婆窓正面)



◇山門



山門(二天門) 持国天 多聞天(毘沙門天)
持国天、多聞天の二天は観音さまを守る脇佛である

◇鐘楼

秋元家の家老、高山基五兵衛朝繁が姫母の供養のために貞享三年(1686)に寄進した。

(市指定文化財)



◇狩野派の掛け物 (江戸時代を代表する奥絵師たちの名作)



龍頭観音 狩野探幽 山居図 狩野探幽 白衣観音 狩野永真 南泉斬猫図 狩野常信

◇山水楼閣



◇涅槃絵



寛文十三年(1673)寄進

◇高山家菩提所と芭蕉堂



家老の高山家のご本尊、梵鐘などを寄進して寺の護持発展に尽くされた家なので梵鐘の良く聞こえる所に墓所を設けた。本家の高山伝衛門(慶時)の家は寺に近く芭蕉を招いた時には円通院を訪れている。それを記念した六花庵の芭蕉句碑が芭蕉堂にある。

◇五石橋

秋元氏によって行われた灌漑治水工事の家中川に架けられた五つの石橋の一基が、円通院境内の放生池に移されて保存されている

(市指定文化財)



◇山水風景(假婆窓正面)



○円通院の観音さん



観音さまは様々な姿に身を変えて、人々を苦しみから救ってくれる



○十六羅漢と布袋さん



六角堂(報恩塔)
円通院十六世教道老師が十六羅漢を堂内に祀った塔

十六羅漢 飛騨の匠、左基五郎の末裔、村上群鳳の名作

◇虎溪山水図

